

“三恵ホームに来て”

入所者 石川 和子

愛媛病院から、三恵ホームに変わって来て、三カ月が過ぎました。ようやく慣れて来ました。

三恵ホームは、病院と違って、色々なことができて楽しい所だと思います。

よろしくおねがいます

10月入所の皆さん



栗原 行元 矢野 安藤 滝沢 丹 近藤 石川裕 石川和

昔、愛媛病院にいた友達の中にはいろいろなことがあって、いろいろな人達がいまして、又勉強になります。これから、色々あるけれど私は、私なりに頑張ろうと思っています。皆さんよろしくお願致します。

“心温まる

寮母さんの笑顔”

家族 矢野 美鈴



兄の三恵ホーム入所を前に心に描いた不安。それは認識不足から来る療護施設

等へのイメージ、中は薄暗く冷やかで堅苦しい人間関係の対応・身内の元を離れて今日から知らない他人の中での生活に入っていく兄本人。子供を手離さねばならない両親や家族の不安、そんな思いが、出迎えて下さった職員の方々始め寮母さんのまぶしいばかりの笑顔で一掃されたのは、私一人ではなかったに違いない。

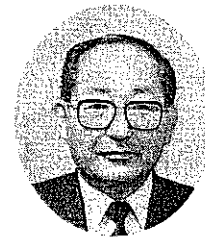
それは幼い頃、病氣や怪我で苦しい時の母や看護婦さんのやさしい笑顔と暖かい手の温もりに似て、どんなにか救われた事か。病人の心も体も和らげてくれる様な暖かな真心の籠る介護の心地良さ。

人の為に働いて居る皆様の尊い精神に頭が下がる思いで唯々平伏するばかりです。

私も運転免許取りたてですが、難所の桜三里を親を乗せ三恵ホーム通いに頑張ります。皆様、今後共兄の事よろしくお願致します。

“家族会研修に参加して”

家族 宇佐美和雄



十月二十九日、第三回家族会役員会・研修会に参加させて

いただきました。役員会は往きの車中で行われ、伊予灘を望みながら目的地の大洲ホームに到着。三恵ホームから移転された皆さんも明るく元氣そうでした。居室は二五室でドーナツ形の配列。内側に寮母室や看護室があり実に合理的。ホーム全体が機能性と居住性をバランスよく取り入れた斬新な設計に、質問したり触れて見たり。

案内して下さる施設長さんのお姿には、そのやさしさの奥に、福祉事業を見事開花に導かれた強固な信念をかいま見ました。

また、使命感に燃える職員さん達、我が三恵ホームも同様頭の下がる思いでした。帰り際、植樹作業をしているボランティアの方々を目のあたりにし、いみじくも「家族会としてなにか役立つことを」と話されていた会長さんの言葉が改めて耳に響いてきました。帰途、内子の古い町並みを散策し内子座を見学、有意義な一日でありました。